

## 山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木聖

山 域・山 名： 硫 黄 岳 (2,760m)		長野県茅野市
入山日：令和2年12月4-5日(金-土) 1泊2日 帰宅日：12月5日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		硫黄岳山頂
参 加 者	L：報：記：鈴木  男 1名、女 名、計 1名	
天 候 12/4 曇り 12/5 曇り時々雪 強風		
12月4日 (金)	6：20 自宅発 中央道小淵沢IC下車 美濃戸口 10：10 着、11：00 美濃戸口発 -11：50 美濃戸- (北沢) -14：20 赤岳鉱泉着 (テント泊)  行動：3h20m	
12月5日 (土)	5：00 起床-6：30 赤岳鉱泉発-08：50 硫黄岳-11：00 赤岳鉱泉 (テント撤収) 11：30- (北沢) -13：30 美濃戸-14：20 美濃戸口着 中央道にて帰宅  行動：7h50m	
荒天候時のエスケープルート：小屋泊に切り替える。横岳への縦走をやめる。		
装 備 と 食 糧	共同装備：なし 共 同 食：なし 車提供者：鈴木	
	個人装備：テント、スコップ、シュラフ、エア(銀)マット、ストーブ、(寒冷ガス)、クッカー、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、水、テルモス、帽子(目出帽)、ゴーグル、ヘルメット、グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、10-12アイゼン、サブザック、ツェルト、ラジオ 個 人 食：食事×4 プラス予備食、行動食	
感 想	12月4日 美濃戸口から美濃戸までとさらに40分ほど林道が続く。登山道に入ってから も道はなだらかで、一部凍結箇所があり転ばないように注意した。 結局赤岳鉱泉まではアイゼン装着せず。テント場は雪がうっすらと積もっている程度、ペグが 使えず石で張綱を固定した。 12月5日 夜半から強風となったが、硫黄岳山頂に上がったからの稜線ではさらに強く よろけるほど。視界も悪いため、横岳への歩行は諦めそのまま下山した。 今シーズン最初の雪山は予想通り雪がまだ少なく満足度はいまいちだが、重量ザックに よるほど良い疲労感を味わいながら帰路に着いた。	